

【講座名】	講座4 「出前授業相談会」	
【講師】	都城市立西小学校 指導教諭 石本隆士 氏 県立みなみのかぜ支援学校 指導教諭 田爪昭宣 氏	
	<p>1 講座の内容</p> <p>【講師 石本隆士 氏】【相談者 A氏】</p> <p><input type="checkbox"/> 中学2年生男子2名が在籍している。そのうちの1名が特に気がかりである。</p> <p><input type="checkbox"/> 生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情緒面が不安定で過敏な面があり、多動症傾向がある ・交流学級での対人関係がうまくいかない。(小学校でのトラウマの影響?) ・療育手帳を所持している・・・B2 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の情緒面をきちんと把握をしたい ・今後の指導法を探りたい <p><input type="checkbox"/> アセスメントとその生かし方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木図(描いてみると心理状態の把握に効果的・・・バームテスト) ・JSI-Rで検索して・・・7つの感覚を検査することが可能(広島大学) <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな感覚を味わわせることによって、情緒面が安定・改善することができる。 ・DSキャスとウイスクの両面からの検査によって、実態把握や指導法を探ることができる。 ・生徒のコミュニケーション能力を把握することによって、情緒面が改善されることがある。 ・SSTワークテスト思春期編を実施することによって、発達傾向を把握することができる。 ・スクリプト検査によって、社会的発達を促進することができる。 ・Q-Uの実施・活用によって、理解と所属集団の特性を把握することができる。 <p>※問題行動のある生徒は家庭に見守られていないことが目立つ。</p> <p>※吞舟の魚等多様なタイプがあり、タイプにより多様な指導・支援が必要である。</p> <p>【講師 田爪昭宣 氏】【相談者 B氏 相談者 C氏】</p> <p>① 講師から</p> <p>私が大切にしていること～自己紹介 経歴や得意なことや考え・思いと現在取り組んでいること(具体的な映像資料にて紹介)</p> <p>② 主訴・「目的地」の確認</p> <p>相談内容の確認～講師からの聞き取り等(カード記録等も用いながら)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象児童の現状や児童の課題について(対象児童の発達段階のデータ等(文書・映像データ等)での確認) <p>③ 演習・協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階の現状や行動をもとにした相談者の取り組みの意義の確認 ・取り組みの具体的な方法への助言と相談者からの質疑や確認 ・具体的指導事例の提示(映像資料にて)と協議 ・成長した部分の現状から考えられる具体的指導についての協議 ・交流学級との関わりの現状確認と指導の在り方についての協議 <p>2 受講者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 悩みに親身になって答えていただいた。 ○ いろいろな具体的なアドバイスなどいただき2学期からの指導へ少しでも生かしていきたい。 	
講座の様子		

